

MISSION CHALLENGE 2026

あきらめずに、ひらいた10の現場から

ミッション・チャレンジ2026

更生を信じる力で、もっと安全で豊かな社会を

2026.10.17 SAT 13:00-17:00

会場：東京・麻布十番 + オンライン配信

「最後の砦」と呼ばれてきた場所から

刑事司法の最後にいる私たちは、長いあいだ、様々な課題と向き合い、解決しようとしてきました。それがいま、地域や企業、学校とともに取り組みはじめています。全国10の現場から、その実践を話します。成果を誇るためではなく、皆さまと共に進むために。

◆ 実は、こんな取組も

- ・「日本一警備のきびしい植物園」
 - ・刑務官が立つ「日本一安全な通学路」
 - ・「塀の中のビジネススクール」
- いずれも実際の取組です。

◆ 語るのは、職員本人

その取組を企画し、動かしてきた職員が登壇します。うまくいったことも、そうでなかったことも、自分の言葉で。

◆ たくさんの事例が

発表される10の実践は、ほんの一部でしかありません。会場では、発表施設以外の27の実践を紹介する事例集もお配りします。

こんな方へ

矯正施設と連携中／検討中の企業・団体・大学の方
進路や社会課題に関心のある高校生・大学生

再犯防止に関わる国・自治体関係の方
報道関係の方

開催概要 / EVENT INFORMATION

- 日時** 2026年10月17日（土）13:00～17:00
- 会場** 住友不動産麻布十番ビル（東京都港区三田1-4-1）
- アクセス** 東京メトロ南北線・都営大江戸線「麻布十番駅」徒歩6分／
都営大江戸線「赤羽橋駅」徒歩3分
- 配信** オンライン配信あり（視聴希望の方もフォームから登録して下さい）
- 参加** 事前登録制（報道関係の方は、social_connect@moj.go.jp まで御連絡下さい。）



参加・視聴登録はこちら



主催：法務省矯正局

CORRECTION BUREAU, MINISTRY OF JUSTICE



Social Connect Project

拘禁刑の導入や犯罪被害者等の心情等の聴取・伝達制度の開始など、矯正行政を取り巻く環境は変化しています。矯正局では、被収容者の特性や環境の変化に柔軟に対応しながら、拘禁刑時代にふさわしい処遇の実現に向けて取り組んでいますが、取組を進める上では、より幅広い国民の皆様の理解と協力が欠かせません。そこで、矯正局では、矯正施設が「もっと安全で豊かな社会」づくりに向けて、様々な企業・団体などの皆様と一緒に取り組むことを通じて、矯正施設が持つ社会的な機能を発信していき、矯正施設と社会をつなげていこうと活動する「ソーシャル・コネクト・プロジェクト」を立ち上げました。

なぜ、今なのか？

2025（令和7）年6月に、新しい刑罰である「拘禁刑」が導入されました。刑罰の種類が変わるのは、1907（明治40）年に刑法が定められて以来はじめてのことです。「懲役刑」と「禁錮刑」を廃止して「拘禁刑」に一本化し、改善更生のために必要な作業や指導を行うことになりました。

Before

「懲役刑」「禁錮刑」

作業に従事することは、すべての懲役受刑者に科された義務

After

「拘禁刑」

改善更生のために必要な作業や職業訓練、指導を一人ひとりに応じて対応

刑務所や少年院の現状

刑務所

罪を犯した者に刑罰を執行し、再犯防止と社会復帰のための作業や職業訓練、指導を行う施設。

- ◆ 受刑者の多くを占めていた暴力団関係者は、大幅に減少した一方、高齢者が増加。
- ◆ 高齢・障害など受刑者の多様化が進む。

入所する暴力団関係者の数

1975年 5,486人・21.0%
2024年 588人・4.0%

入所する高齢者の数

1975年 371人・1.4%
2024年 3,031人・20.4%

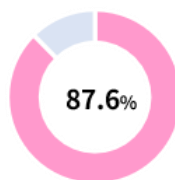
ここでの高齢者とは60歳以上で算出。
昭和51年版、令和7年版犯罪白書より作成。

少年院

非行少年の改善更生と社会復帰に向け、教育的な働きかけなど、健全な育成に資する処遇を行う施設。

- ◆ 特別調査の対象者のうち、約90%の少年が、心身の健康やハイリスク行動に影響する何らかの経験をしている。

心身の健康やハイリスク行動に影響するとされている経験をしている割合



親が亡くなったり離婚したりした	60.6%
家族から身体的暴力を受けた	61.0%
家族から精神的暴力を受けた	43.8%
母親が父親から暴力を受けていた	34.8%

令和5年版犯罪白書より作成。

Mission/Vision

法務省矯正局は、犯罪や非行をした人たちの再犯・再非行を防止し、社会復帰を支援する役割を担っています。2025年、新たな刑罰が導入されたことをきっかけに、これからの時代に向けて矯正行政のあり方を変えていこうとミッション（Mission）・ビジョン（Vision）・バリュー（Value）を定めました。

Mission

更生を信じる力で、もっと安全で豊かな社会を

Vision

罪と向き合い、社会とつながる場所



プロジェクト
ホームページ